

2022年度 第2回町田市指定管理者管理運営状況評価委員会 議事要旨

開催日時：2022年10月3日（月）13：00～15：25

開催場所：町田市庁舎2階 会議室2-2

出席者：（委員長）前田 成東（委員）神山 和美、加藤 暢一、小林 大祐

傍聴者：なし

説明者：児童青少年課7名

事務局：総務課4名

1 開会

事務局から検証を行う施設や本委員会の進め方などについて説明した。

2 「玉川学園子どもクラブころころ児童館」評価結果検証

(1) 所管課説明

施設所管課である児童青少年課担当者から、「玉川学園子どもクラブころころ児童館」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

(2) ヒアリング

神山委員) 評価表の「5. サービスの質に関する評価」の指標3の事業参加率の算定方法について確認したい。分母が定員、分子が参加者数で計算するかと思うが、事業ごとの参加率を平均したのか、それとも全体の事業の定員に対する参加者数から計算したのか。

市担当者) 全体の事業の定員と参加者数から算出している。

神山委員) 事業ごとに参加率のバラつきはあったのか。

市担当者) 定評のある事業については確実に参加者を見込めるが、新しいジャンルの事業は定員に満たないものもあった。

神山委員) 最低でどのくらいの参加率なのか。

市担当者) 本施設については、ほぼ定員どおりに参加いただいております、参加率が目立って低い事業はない。そのため事業参加率は94%と高い数字になっている。

神山委員) 「6. 業務履行状況の確認」の「情報公開・個人情報保護」の項目の要求水準に記載されている「体制どおりの取扱い」とはどのような意味か。

市担当者) 情報公開・個人情報保護の体制については、指定管理者の選定時に提案をいただいております、提案書で示された体制のとおりということである。

神山委員) 提案した体制どおりということに理解した。

小林委員) 利用者アンケート調査について、回収率が100%となっている。調査期間が比較的長いわりに回収率が高いのは、何か工夫などがあるのか。

市担当者) アンケートについては、渡したその日のうちに提出をお願いする即日回収を

意識している。アンケート内容についても一枚両面で済む分量で、答えやすくしている。

小林委員) 添付資料の「労働条件チェックシート」の②賃金台帳のチェック記録において、「常勤職員1名及び非常勤職員1名を抽出し、最低賃金を上回っていることを確認した」とある。最低賃金であれば全員確認した方がいいのではないか。

市担当者) 児童青少年課の取組として、所管する施設共通で定めた2021年度のモニタリングの抽出基準に基づき、常勤職員から1名、非常勤職員から1名を抽出して確認した。委員にご指摘いただいた件については、モニタリング方法を検証し見直しをしていきたい。

小林委員) 定期健康診断についても同様に、常勤1名を抽出して確認している。なぜ1名なのか。

市担当者) こちらも1名抽出して確認すれば足りるという判断だった。

小林委員) 賃金については複数項目の確認や計算をする必要があるかもしれないが、健康診断については、実施しているか否かだけを確認すればよいので、事業主が全員分の健康診断費用を負担しているかどうかを確認した方が良いと思う。抽出する意味があるのかと感じた。

市担当者) 見直していきたい。

加藤委員) 「7. 財務・収支状況の確認」について、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、予算はあっても活動ができない混乱した状況があったと思われる。2021年度は影響がゆるやかになって活動できたと思われるが、実際には2021年度の方が人件費は低い。また精算する経費については、2020年度が0であるのに対し、2021年度は約480万円となっている。これはどのような状況だったのか。

市担当者) 2021年度の人件費が前年度より下がったのは、勤続年数が長い職員が退職し、新規採用者に置き換わったためである。精算する経費については、この中に含まれている修繕費が当初の予定より大きく増えてしまったためである。通常、修繕費は30万円を予算として積算しているが、結果として130万円の支出があったため、その差額が表れている。

加藤委員) 2022年度の人件費の予算が2021年度の予算より約100万円増えているが、理由はなにか。

市担当者) 予算欄の金額は、選定時の提案された5年分の収支計画をもとに記載している。約100万円の増加は人件費の上昇を見込んでいるものと思われる。

加藤委員) 現在、エネルギー価格が高騰しているため、経費の増加につながっていると思われるが、エネルギー関係の経費は間接経費に含まれているのか。

市担当者) エネルギー価格に関わる光熱費については、精算する経費に含まれている。委員のおっしゃるとおり光熱費が増加しているので、来年度に向けては、提

案金額で賄えるか指定管理者と調整を進めている。

加藤委員) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものがたくさんあると思う。理解できた。

前田委員長) 「6. 業務履行状況の確認」の「平等利用の確保」の項目の履行状況について、「毎月のお便り及びホームページにて適宜情報を発信していた」と記載されている。「発信していたことを確認した」と、発信した内容を確認したことが分かる記載としてほしい。また、「市への報告書類の提出」についても履行状況に「提出していた」とある。このような記載だと、提出した事実だけしか分からないので、定められた期日までに提出し、内容の確認をしたことが分かる記載の方が良い。

市担当者) ご指摘のとおり、「発信していた」「提出していた」だけでは履行状況の確認として「適」と判断するには足りないなので、修正する方向で検討する。

前田委員長) 「5. サービスの質に関する評価」の利用者アンケート調査について、アンケートを手渡しで実施し、その日のうちに回収しているということで回収率が100%になっているということであったが、ぴったり100枚なのは100枚に達したらアンケートを終了しているということか。

市担当者) 保護者100人、子ども100人に対しアンケートを実施するよう指定管理者に依頼している。ちょうど100枚になったのか、100枚に達したからアンケートを打ち切ったのかどうかは把握していないが、100枚はアンケートをとるとの市の指示に対し、指定管理者が応じているものである。

前田委員長) 100人にアンケートをとることはどこに記載されているか。

市担当者) 業務仕様書等には記載はない。利用者アンケート実施前の11月から12月に、利用者アンケートの設問項目や配布枚数を市と子どもクラブの指定管理者と協議の上決定し、統一様式として市から各指定管理者に配布してアンケートを行っている。その中で、概ねの実施時期や配布枚数を指定している。

前田委員長) 調査期間には2月28日までとあるが、100枚に達した時点で2月28日だったということなのか、それとも2月28日までアンケートを実施するよう指示していたのに、実際には100枚に達した時点で調査を終了していたということなのか。

市担当者) 添付資料の「利用者アンケート調査チェックリスト」のとおり、アンケート実施前の12月22日に確認した時点では、調査期間は「1月～2月」とあるだけで、具体的な日付までは記載されていない。2月28日に100枚に達したのか、2月28日より前に100枚に達していたのかについては把握していない。

(3) 委員長総括

前田委員長)

神山委員からは、評価表の「6. 業務履行状況の確認」の個人情報の要求水準の記載

が分かりにくいので、表現の検討をしてほしいと指摘があった。

小林委員からは、労働条件モニタリングについて、最低賃金と健康診断の確認は、抽出ではなく、全員行った方が望ましいのではないかと指摘があった。

加藤委員からは、指摘事項はなかった。

私からは、「6. 業務履行状況の確認」の履行状況について、確認したことが分かる記載にしてほしい。また、利用者アンケート調査について、100枚にこだわらず、アンケートに回答いただける方には回答をしていただくことを検討してほしい。

3 「小山子どもクラブ」評価結果検証

(1) 所管課説明

施設所管課である児童青少年課担当者から、「小山子どもクラブ」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

(2) ヒアリング

前田委員長) 先ほどの玉川学園子どもクラブころころ児童館は、条例上でも「ころころ」という名称が入っている。一方、小山子どもクラブについても「さん」という名称が後ろについているが、条例上にはない。これは指定管理者がつけた愛称で、正式名称ではないという理解でよいか。

市担当者) 「ころころ児童館」の名称については、2003年に玉川学園子どもクラブを設置した当時、地元の方からの要望に基づき条例上に定めたもので、正式名称である。

市では子どもクラブを大型の子どもセンターを補完する施設として位置づけており、2013年度から市内の子どもクラブを増やす取組みを進めている。2017年度以降、木曽、三輪、小山、南町田に子どもクラブを設置しているが、この取組みで設置した子どもクラブには愛称をつける運用としている。あくまで愛称なので、条例上に規定していないが、愛称の決定に際しては地域の子供たちの意見を募っている。玉川学園子どもクラブはこの取組みが始まるよりかなり前に設置されているため、名称の位置づけが異なっている。

神山委員) 評価表の「5. サービスの質に関する評価」の総合評価について、先ほどの玉川学園子どもクラブと比較すると、来館者数は「C」で、それ以外の2つの指標は「A」と共通している。一方で総合評価は、玉川学園子どもクラブが「A」で、小山子どもクラブは「B」となっている。小山子どもクラブの所管課所見に、あえて評価に差をつけた理由があれば記載したほうがよいと感じる。実際にどういう観点から評価に差をつけたのか。

市担当者) 玉川学園子どもクラブについては、要求水準にかなり近い来館者数であり、新型コロナウイルス感染症による利用者の減少がなければ要求水準の達成を

見込める結果であったため、所管課所見に理由を特記して、評価を上方修正している。小山子どもクラブについては、新型コロナウイルス感染症の影響を見込んでも要求水準に届く結果ではなかったため、特に所管課所見では言及せず、評価基準どおりに評価したものである。

神山委員) 先ほどの玉川学園子どもクラブで指摘した「6. 業務履行状況の確認」の「情報公開・個人情報保護」の項目の要求水準の記載については、小山子どもクラブでも指摘したい。

小林委員) 「6. 業務履行状況の確認」の「平等利用の確保」の項目の履行状況にある「すぐメール」とは何か。小山子どもクラブ特有のものか。

市担当者) LINEやEメールで発信されるイベント情報を指している。全ての子どもクラブで同じシステムを使っているが、発信する内容は各クラブが作成し、登録した利用者に発信している。

小林委員) 発信の状況は市で確認することができるのか。

市担当者) はい。

小林委員) 小山子どもクラブだけすぐメールについて記載している理由はなにか。

市担当者) 特にない。

小林委員) 先ほどの玉川学園子どもクラブでの労働条件モニタリングに関する指摘については、小山子どもクラブでも指摘したい。

加藤委員) 「7. 財務・収支状況の確認」の(2)指定管理者本部の財務状況について、指定管理期間が始まった2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動状況が参考に出来ない。2022年度以降、本来の活動ができるようになったときに財務状況が変わっていくと思われる。今後、活動が本格化していく中で、財務状況が適切な水準に維持されているかどうかを注視してほしいと思う。

前田委員長) 玉川学園子どもクラブと同様の意見については、重複するため割愛する。利用者アンケート調査の配布枚数について、小山子どもクラブでは、子ども100枚、保護者51枚となっているが、これは市から依頼したのか。

市担当者) 市からは、子どもも保護者も100枚ずつ配布して回収するようお願いしているが、本施設は、保護者に対しては51枚しか配布できなかったということである。

前田委員長) 回収率だけを見ると100%を達成しており、良く見える。一方で、先ほどの玉川学園子どもクラブは、子どもと保護者で同数の100枚を回収しているのに対し、本施設では保護者のアンケートが51枚でとどまっている。このことについて、所管課としてはどのように考えているか。

市担当者) 子どもクラブによって利用者層に差がある。100枚の回収を目指していたが、小山子どもクラブは乳幼児親子の来館者数が少ないため、結果的に保護者からのアンケートの回収枚数が少なくなった。51枚という結果は致し方ないと考えている。

前田委員長) 利用者満足度の目標値は、先ほどの玉川学園子どもクラブと比較すると、80%から85%と控えめになっている。目標値の差には理由があるのか。

市担当者) 選定時に指定管理者から提案があった数値をそのまま記載している。設定としては問題ないと思っている。本施設の指定管理者は、地域の住民の方で立ち上げた団体で、指定管理制度を導入する初年度の提案なので、市の要求水準に沿った目標値を設定したものと考えている。この指定管理期間の経験に基づき、次回提案する際には、より高い目標値を設定してくるだろうと見込んでいる。

(3) 委員長総括

前田委員長)

神山委員からは、評価表の「6. 業務履行状況の確認」の「情報公開・個人情報保護」の要求水準の記載を検討してほしいと指摘があった。

小林委員からは、労働条件モニタリングについて、最低賃金と健康診断については全員の確認をしていただきたいと指摘があった。

加藤委員からは、指摘事項はなかった。活動が本格化する次年度以降、財務状況が適切な水準になっているか注視してほしいと意見があった。

私からは、「6. 業務履行状況の確認」の履行状況の記載について、確認したことが分かる記載にしてほしい。また「5. サービスの質に関する評価」の利用者アンケート調査について、定められた期間の中でできるだけ多くの方の意見を聞いてほしいと指摘する。

4 「大蔵学童保育クラブ」評価結果検証

(1) 所管課説明

施設所管課である児童青少年課担当者から、「大蔵学童保育クラブ」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

(2) ヒアリング

神山委員) 評価表の「2. 選定時の提案内容」の1つめの項目の達成状況に、「地域団体との連携し」とあるので、「てにをは」を直していただいた方がよい。

「4. 総合所見及び所見」の指定管理者所見に、「受診の目安として#7119への相談を行い」とあるが、「#7119」とはなにか。

市担当者) 症状を伝え、それに対する処置を教えてもらう一般的な電話相談窓口#7119を使っているということである。

神山委員) 利用者アンケート調査について、添付資料の「利用者満足度調査結果」では全体満足度が97%とあるが、「5. サービスの質に関する評価」の指標1の利用者満足度は96.7%と、数値に差がある。どちらが正しいのか。

市担当者) 調査結果については、委員会資料として整えた「利用者満足度の集計について」をご覧いただきたい。正誤対照表にあるとおり、96.7%が正しい。

神山委員) 「5. サービスの質に関する評価」の所管課所見について、「利用者満足度において75%の保護者が」、「アンケート調査の回収率が75%を超えており」と記載がある。実際の利用者満足度は96.7%、回収率も84.1%と75%を大きく上回っている。もう少し評価した記載でも良いと思う。

小林委員) 添付資料の「事業報告書」の「情報公開・個人情報保護対策」の項目について、自己評価及び改善点の欄に「個人情報紛失事故が発生した」とあったが、これはいつ発生したものか。またどのような事故だったのか。

市担当者) 検証対象である大蔵学童保育クラブではなく、同法人が管理する学童のうち3学童で2021年度に発生したものである。まず、成瀬中央あおぞら学童保育クラブとどろん子学童保育クラブについては、個人情報は含まれていなかったものの、本来メールの対象ではない学童クラブの利用者にメールを誤送信した。南大谷学童保育クラブについては、個人情報が含まれた書類を一時的に紛失したもので、最終的には見つかっている。

小林委員) 南大谷学童保育クラブの件は、一般的な公表やプレスリリースなどを行ったのか。

市担当者) プレスリリースの準備中に一時紛失した書類が見つかり、結果的に個人情報の紛失がなかったため、公表はしていない。

小林委員) 添付資料の「現地調査確認シート」で確認した内容と、評価表「6. 業務履行状況の確認」の内容は、整合性がとれているのか。例えば、「保護者への情報提供」の項目においては、「現地調査確認シート」ではポスター等が貼ってあるということを確認しているが、「6.業務履行状況の確認」の履行状況ではポスターについては何も書かれていない。せっかく現地で確認しているのだから、その内容を評価表にも記載したほうが良いと思う。

「要望対応」の「要望窓口の周知」の項目についても、「現地調査確認シート」では、「要望を受け付ける窓口の周知はあるか」のチェック項目が「なし(入会のしおりで周知)」と記載されている。一方、「6.業務履行状況の確認」の履行状況では、「苦情受付窓口が掲示板等で周知され」と書いてある。入会のしおりで周知したのであれば、そのとおり記載すれば良い。

市担当者) ご指摘のとおり、現地で確認した内容を履行状況に記載するようにしたい。

小林委員) 「現地調査確認シート」での記載内容と、「6. 業務履行状況の確認」の記載内容を合致させてほしい。

加藤委員)「7. 財務・収支状況の確認」について、2020年度の収支差額がマイナス約23万円となっているが、これは新型コロナウイルス感染症の影響か。

市担当者)本施設の収支がマイナスになった直接の原因は確認していないが、全体的な傾向として、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により小学校が休校となり、学童保育クラブの開館時間が長くなったため、人件費などの経費が増加した。その影響はあったと推測される。

加藤委員)(2)指定管理者本部の負債比率が2020年度まで30%台だったものが2021年度は約55%と急激に上がっている。添付資料の「貸借対照表」において、負債の部に「預り金」とあり、前年度から約3千万円増えているがこの預り金の内容は何か。

市担当者)把握していないため、法人に確認する。

加藤委員)預り金が増加した結果、負債比率が上がっている。この内容を確認してほしい。

<児童青少年課 確認結果>

預り金の内容は、同法人が指定管理者となっている学童保育施設(10施設分)の指定管理料の精算金(市へ返還するもの)です。2021年度は、年度当初の採用計画どおりに職員雇用ができなかったことなどにより、人件費等で精算する金額が増えたため、預り金が前年度より増加しました。

なお、学童保育クラブにおける職員配置については、児童青少年課が育成日誌にて適正な基準で配置されていることを確認しております。

加藤委員)添付資料の「利用者満足度調査結果」について、施設の安全対策と衛生管理の項目は、他の設問項目と比べると「やや不満」が14.6%、13.4%と多くなっている。不満が多い理由は把握しているか。

市担当者)衛生面については、古い施設だとどうしても満足度が低くなる傾向がある。大蔵学童保育クラブは老朽化が進んでおり、衛生面の満足度に影響していると考えている。

加藤委員)古いという理由であれば仕方がないが、「やや不満」が多い原因について、指定管理者がどのような認識しているのかを確認し、改善できる部分は改善をお願いしたい。

<児童青少年課 確認結果>

施設の安全対策と衛生管理について「やや不満」が多かった原因について、指定管理者では次のように認識しています。

- ①建物は築20年以上経過しており、経年劣化により衛生的に見えない。
- ②トイレが男女共用となっている。
- ③学童保育クラブの通用門が、歩道に隣接しており、歩行者・自転車等の接触事故が起きたことがある。
- ④施設に誰でも入って来られる立地となっている。

すべて建物や施設の構造等に起因する事項であることから、指定管理者としては管理運営において不適切又は不十分な対応等はなかったものと認識しています。

なお、2021年度に市が改修工事を行ったことで、2022年度以降、①は解消され、②についても男女別のトイレとなりました。③については、指定管理者から児童に歩き方・飛び出さないなどの交通安全指導を行い、また、児童が帰る際にも支援員が注意喚起を行って送り出しを行っています。④については、2021年度に市で防犯カメラを新設しました。

前田委員長) 「6. 業務履行状況の確認」の「施設の運営方針・管理方針」の「市への報告書類の提出」の項目の履行状況について、「提出した」との記載に留まっている。実際には、提出した書類の内容を確認していると思うので、「確認した」ということが分かる記載としてほしい。

「地域貢献」の「市民雇用」の項目の履行状況に「市民雇用、市内事業者の利用に配慮していたことを確認した」とあるが、実際は市民雇用、市内事業者の割合は何%か把握しているのか。

市担当者) 本施設では、4月1日時点で職員9人のうち5人が町田市民から雇用しており、市民雇用率は55.6%となっている。各学童施設についても4月1日時点の市民雇用率は把握している。市内事業者の利用については、年間の事業報告書において確認している。

前田委員長) この履行状況の記載では、「配慮していたことを確認した」ととどまっており、そのように市民雇用率や市内事業者の利用を確認したことが伝わらない。内容を確認したことが分かる記載とした方が、誤解がないと思う。

(3) 委員長総括

前田委員長)

神山委員からは、評価表の「5. サービスの質に関する評価」の所管課所見について、利用者満足度もアンケート回収率も75%を大きく上回っているため、評価基準の75%を上回っているという事実だけではなく、具体的に評価したほうが良いと指摘があった。

小林委員からは、「6.業務履行状況の確認」の履行状況について、現地調査で確認した内容を反映して記載してほしいと指摘があった。

加藤委員からは、「7.財務・収支状況の確認」の(2)指定管理者本部の負債比率の上昇について、要因となっている預り金の内容を確認してほしい。また、利用者満足度調査の施設の安全性と衛生管理の項目について「やや不満」の比率が高い原因を把握し、可能な限り改善に努めてほしいと指摘があった。

私からは、「6.業務履行状況の確認」の「市への報告書類の提出」の履行状況について、書類の内容を確認したことが分かる記載にしてほしい。また、「市民雇用・市内事業者の利用」の履行状況について、具体的な数値までは不要だが、その実数や比率を確認していることの記載をお願いしたい。

5 「桜の森学童保育クラブ」評価結果の検証

(1) 所管課説明

施設所管課である児童青少年課担当者から、「桜の森学童保育クラブ」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

(2) ヒアリング

神山委員) 評価表の「5. サービスの質に関する評価」の利用者アンケート調査について、指標1、2の利用者満足度と、添付資料にある調査結果との対応関係を確認したい。添付資料の「利用者満足度調査結果」のどこを見ればわかるのか。

市担当者) 学童保育クラブの利用者アンケート調査の設問については、町田市で統一項目を設けている。本施設では、設問7が指標1の全体満足度に該当し、設問1から6の満足度の平均が指標2のサービス・施設管理面の利用者満足度に該当する。指定管理者が作成したアンケート結果では、分母に未回答を含めて利用者満足度を計算しているのに対し、市では未回答を除いた数を分母にして計算しているため、数字が整合していない。

神山委員) アンケートの回収率が低いのは、本施設特有の事情が考えられるのか、それとも指定管理者の調査方法に原因があるのか。

市担当者) どちらにも原因があるのではないかと考えている。施設特有の事情としては、本施設は、市内でも外国籍の児童が比較的多く在籍しており、アンケートにも漢字にルビを振って回答しやすいよう対応しているが、回収率に影響していると考えられる。また調査方法に関しては、連絡帳にアンケートを挟んで配布しており、配布方法が良くないため回収率が低くなっていると考えられる。配布方法については、他の指定管理者の方法などを指定管理者に伝え、次年度以降改善するよう指導している。

神山委員) 登録児童数がそもそも少ないので、回収率が低いと1つの回答の影響が大きくなる。回収率の向上については工夫してほしい。

小林委員) 添付資料の「事業報告書」の「3施設の運営方針・管理方針」の項目において「賞味期限切れのおやつを提供してしまった」との記載があるが、具体的にどのような状況か。

市所管課) おやつを食べ終わった後に、5人の児童に賞味期限切れのおやつを提供したことが分かった。おやつの購入元に健康への影響を確認し、保護者へ謝罪の連絡と児童の体調確認をした。結果的に児童の体調不良などはなかったが、市から法人に対して厳重注意を行った。

小林委員) このことは評価には反映しているのか。

市所管課) 反映してない。

小林委員) あてはまる評価項目がないからか。

市所管課) 「6.業務履行状況の確認」の評価項目には該当がないため、直接適否の判定は

していないが、全体的に適正な業務履行状況だったかは、今回のおやつの特
も踏まえ、評価している。

小林委員) 被害はなかったかもしれないが、事故に類する事柄であると思うので、何らか
の形で評価表に言及があっても良いと思う。

前田委員長) 消費期限とは異なり、賞味期限は美味しく食べられる期限で、何日か過ぎても
一般的には健康に影響はないとされている。その場合 1 日でも過ぎれば明確
に記録として残しておく必要があるのか。

小林委員) 程度の問題はあると思う。具体的におやつは何で、どのくらい超過していたの
か。

市所管課) 「ぽりぽり小魚」というお菓子で生菓子ではないが、2 週間超過したものであ
った。

消費期限については、超過したものを提供すれば重大な健康被害が起り得
るため、万が一発生した場合には議会への報告等を行うことになると思う。
しかし現状、学童保育クラブにおいては、消費期限と賞味期限の取扱いの区
別や、賞味期限でも何日超過したら「事故」とするのかの明確な基準がない。
所管課としては、賞味期限切れのおやつを提供したことをもって直ちに、業
務履行状況の評価が否となるとは考えていない。

前田委員長) 先ほど程度の問題という話もあったが、だからと言って 1 日、2 日なら良いと
考えられても困る。やはり原則としては、期限までに提供する。もし 1 日でも
期限切れのものを提供した場合には、評価表にも何らかの文章として残すこ
とを検討していただきたい。

小林委員) 「6. 業務履行状況の確認」において、添付資料の「現地調査確認シート」で
確認した内容を反映することについては、大蔵学童保育クラブと同様、本施
設でも指摘したい。

加藤委員) 「7. 財務・収支状況の確認」について、本施設は 2021 年度から指定管理
期間が始まっており、開始当初からコロナ禍に遭い苦労したと思うが、収支
は黒字になっている。一方、2022 年度の予算は、指定管理料が 2021 年
度予算から約 800 万円下がっていて、それに応じて人件費も約 800 万円
減少しているが、この理由は何か。

市所管課) 学童保育クラブの人件費は、「支援の単位」といういわゆるクラスの数に応じ
て、1 クラス 2 名の支援員を配置するよう積算している。そのためクラスの
数によって、人件費は年度で大きく変動がある。人員が減ったのではなく、ク
ラス数の違いによるものと思われる。改めて内容を確認したい。

<児童青少年課 確認結果>

指定管理者の公募時の提案書では、応募団体に対し、支援の単位（40 人程度のク
ラス）1 から 4 までの場合を想定し、人件費等を積算するよう求めております。

支援の単位は、在籍児童数に応じて毎年度変動する可能性があるため、各年度の収支予算書は、支援の単位が決定した後に、改めて提案書に基づき指定管理者から提出を受けています。このため、評価対象年度（2021年度）の予算額については、支援の単位を2として人件費等を積算した金額を記載しています。一方、2022年度以降の予算額については、指定管理者が提案書で示した支援の単位1の場合の金額を記載しています。

評価表「7. 財務・収支状況の確認」の予算額について、評価対象年度とそれ以降の年度とは単純比較することはできません。

前田委員長）「6. 業務履行状況の確認」の履行状況の記載については、大蔵学童保育クラブと同様に指摘したい。

また、神山委員からも指摘があったが、利用者アンケート調査の回収率が低いことについて、添付資料の「利用アンケート調査チェックリスト」でも「回収率・回収数が適切ですか」の項目で唯一チェックがついていない。本来、回収率や回収数が適切でないと、この利用者アンケート調査が信頼できるものか疑わしくなってしまう。特に今回は、評価表の「5. サービスの質に関する評価」の指標1の全体満足度は94.1%、サービス・施設管理面での利用者満足度は94.4%で、いずれも95%をわずかに下回った結果、B評価となっている。利用者アンケートの回収率は40枚中18枚しか回収できず45%となったが、あと1~2枚多く回収し、それが「満足」という回答であれば、両方ともA評価であったはずである。回収率がサービスの質に関する総合評価に大きく影響しているので、施設の事情はあると思うが、利用者アンケートの回収率向上に努めていただきたい。

（3）委員長総括

前田委員長）

神山委員からは、「5. サービスの質に関する評価」の利用者満足度について、利用者アンケート調査結果と数値が一致していないので、注意書き等を記載してほしい。また、利用者アンケート調査の回収率が低く、調査の信ぴょう性が疑わしくなるため、回収率の向上に努めていただきたい。

小林委員からは「6. 業務履行状況の確認」の履行状況に、「現地調査確認シート」で確認した内容を反映してほしいと指摘があった。

また、添付資料の「事業報告書」に記載されていた賞味期限切れのおやつ提供については、評価表にも何らかの形で記載してほしいと指摘があった。

加藤委員からの指摘はなかった。確認事項について回答をお願いしたい。

私からは、「6. 業務履行状況の確認」の履行状況について、「市への報告書類の提出」の項目については、内容を確認したことが分かるよう記載してほしい。「市民雇用・市内事業者の利用」については、「配慮していたこと」だけではなく、実際の数値や比率を確認したと記載してほしい。また、利用者アンケート調査の回収率の向上に努めていただくようお願いしたい。

6 「鶴川第二学童保育クラブ」評価結果の検証

(1) 所管課説明

施設所管課である児童青少年課担当者から、「鶴川第二学童保育クラブ」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

(2) ヒアリング

神山委員) 評価表の「5. サービスの質に関する評価」の利用者満足度と、添付資料の調査結果が一致しない理由は、先ほどと同様、未回答者の扱いの違いということでしょうか。

市所管課) はい。

神山委員) 添付資料の「利用者アンケート調査チェックリスト」において、公表時期が2021年3月となっており、日付が整合していないのでよく確認していただきたい。

本施設も回収率が69.4%と低いので、回収率を上げてもらうことについては、大きな課題ではないかと感じる。

前田委員長) 「利用者アンケート調査チェックリスト」では、「回収率・回収数は適切ですか」という項目にチェックがついている。所管課では適切だと判断しているということか。実際には75%を割っているのだから、適切だとは言えないのではないか。また、「3. 昨年度の課題」には、「利用者満足度調査のアンケート回収率は75%を下回っており」と記載がある。これは、2020年度も下回っていたということか。

市所管課) 2020年度、2021年度ともに下回っていたということである。

小林委員) 労働条件モニタリングの実施方法について、賃金台帳に関する確認は、先ほどの子どもクラブと同様、抽出して確認するのではなく、できれば全件確認したほうが良い。

また、添付資料の「労働条件チェックシート」のチェック記録に結論しか記載されていないため、抽出して確認したのか、全件確認したのか、確認の方法を記載してほしい。

雇用契約書または労働条件通知書のチェック記録に「雇用契約書や労働条件通知書を作成し、従業員に明示しており」と記載されているが、これはどのように確認したのか。

市所管課) 書類に従業員のサインやはんこがあることで確認している。

小林委員) 定期健康診断についても同様に、抽出ではなく、全件確認してほしい。

また、「6. 業務履行状況の確認」の履行状況には、「現地調査確認シート」で確認した内容を反映してほしい。

加藤委員)「7. 財務・収支状況の確認」について、2020年度から2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと思うが、収支差額は赤字にはなっていない。そのため現状問題があるわけではないが、現在エネルギー価格が高騰しているため、2022年度以降は予算どおりにならないことも出てくると思う。エネルギー価格の状況によっては、財務状況が悪化することがあるので、今後の活動状況と財務状況の推移については注視してほしい。

前田委員長)先ほどと同様になるが、「6. 業務履行状況の確認」の「市への報告書類の提出」については、内容を確認したことが分かる記載としてほしい。また、市民雇用については、配慮していることだけではなく、実際の数値や雇用率を確認したと記載していただきたい。

利用者アンケート調査については、回収率の向上に努めていただきたい。特に「利用アンケート調査チェックリスト」の「回収率・回収数は適切ですか」にチェックすべきではないと思う。

(3) 委員長総括

前田委員長)

神山委員からは、「5. サービスの質に関する評価」の利用者満足度と利用者アンケート調査結果が一致していないため、分かりやすく記載していただきたいと指摘があった。また、添付資料の「利用者アンケート調査チェックリスト」では日付の表記に誤りがあったため、修正していただきたいと指摘があった。利用者アンケート調査の回収率の向上に努めていただきたいと指摘があった。

小林委員からは、「6. 業務履行状況の確認」の履行状況について、「現地調査確認シート」の内容を反映させていただきたいと指摘があった。また、労働条件モニタリングの実施方法について、最低賃金や健康診断については、抽出ではなく全員分を確認していただきたいと指摘があった。「労働条件チェックシート」には抽出確認なのか全件確認なのか、確認方法を記載していただきたい。

加藤委員からは、「7. 財務・収支状況の確認」について、今後の財務・収支状況を注視していただきたいと指摘があった。

私からは、「6. 業務履行状況の確認」の「市への報告書類の提出」については、内容を確認したことが分かる記載としてほしい。また、市民雇用については、配慮していることだけではなく、実際の数値や雇用率を確認したと記載していただきたい。

利用者アンケート調査については、回収率の向上に努めていただきたい。特に「利用アンケート調査チェックリスト」の「回収率・回収数は適切ですか」の項目はチェックすべきではないと指摘する。

7 閉 会